

戰況通信後軍出願者履歷御届

本月一付ヨリ戰況通信後軍出願者ノ  
履歷等可届出旨御通達相成候ニ付即テ  
別紙ノ如ク取揃へ御届申上候也

明治廿八年三月七日

中井商會新報商況社主 木村清四郎

大本營副官部

御中

東京市本町二丁目

0592

身方中夕倍業新幸  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

0593

履歷書

長野縣下信濃國下諏訪郡下諏訪町  
牛尾牛山傳治長男

近衛師團從軍出願者牛山良介

當時東京市日本橋区三軒町一番地  
高次社在勤

一人、履歷

一生年月

明治二年八月二十日

二修学年月日

明治八年より郷里下諏訪小学校に於

て普通学講修 明治十五年中西（印）意ナル者ニ就中英

学修業 明治十七年共立学校ニ入り今年末より英

学修業 自後ハ專ラ英語ヲ独修ス

三六社年月 明治三十七年五月

四在社担任業務 目下軍事に関る記事の起稿

五入社前ノ職業 明治十九年ヨリ翻譯業及雜誌編

纂纂等ニ従事シ明治三十二年九月朝野新聞社ニ入り

明治三十五年ヨリ編輯ニ従事シ爾後家事上ノ都合

ニ由リ郷里ニ歸リ明治三十七年再び出京シテ高沢社ニ

入ル其譯述ノ重ナルモノハスツト氏アリガトホケスレ

リ氏ヘシリエツタテムブルジニホシ氏ハ經濟書スベシカ氏

代議政体ガナイスト氏英國々會議院史中ノ一部等

ニ有之候 (以上或ハ一部ノ書ヲ兼トシテ出版シ若モウハ雜誌ニ掲載ス)

六賞四罰 之し無ク候

二十數年来病患ノ有無

明治九年頃間歇熱ニ冒サレタル外前後更ニ病患奥之候

本人ノ作文

別ニ新聞紙一葉秘者廣島出張中起稿仕候記事

掲載有之候事ノ相添申候

右ニ通リ相違奥之候也

明治二十八年三月七日

右  
牛山良介



頁六〇八ノ内六ノ内  
句已上

0596

										東方中央商業新聞	一冊	湯本
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------	----	----

0597

●廣島特報 第十四報 (十月三日) 在廣島 特派員 牛山良介記

▲帝國軍艦松島

余は昨日を以て軍艦松島を觀其損傷は戰闘力に影響する程のものにあらざる由を報道せり余は昨日香洲の情況を報せんと欲せしに餘りに松島を熟覽し那和

香あれど別に甚しき害を及ぼしたる者あるを見ず 前部の下甲板は前記の如く三十センチの巨砲破

▲昏倒者憤然として起つ

網遠より射込みたる巨砲の破裂を我軍艦の爆發を以

▲志摩大尉微塵となる

志摩大尉は前記の如く三十センチの巨砲破

▲コッファアダム

軍艦の周圍水調點迄は近來佛國の新發明の由り外側

▲死屍を踏へて發砲す

一砲の破裂下甲板の砲手殆んど掃てを踏し尸屍

▲上海通信 (九月十一日)

ハネツケンの去就に 關する諸傳説

始めは傳説 北洋艦隊に ぶ知己親友 遠く集りみ 衛に抵りし 又云ふ威海

▲新 各縣に於て の猝に擧す 否々に於て ぜず唯卑見 のを掲ぐ自 八月二十三 船艦に命し 湖南巡撫吳 至り同所よ

▲北 天津よりの 計畫ありと 是は疑はし たり

▲佛 山東の北部 水中に在り 兵兵器糧食

▲支 九月四日吳 沈没す

▲香 香港に於て せられんと

▲清 清國政府に 實なり九月十 税關監更四々

▲上 上せしめし由 右等は外面ト 軍艦に雇入れ

▲水 水雷術等のト 香港近海に 八し久く支那 たる三井物産

**堅牢世界無比**  
**專賣特許 防火防盜 庫保險金**  
 製造元 東京橋區築港三丁目  
 電話番號 三三八五號  
 支店 同支店  
 附庫保險 附法代價  
 電話番號 三三八五號  
 東京橋區築港三丁目  
 日本橋區通四丁目一丁目



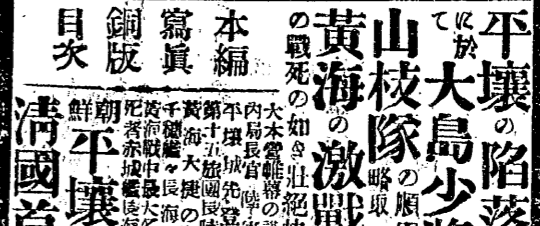
**生命 火災**  
**明教保險株式會社**  
 電話千四百四十四番  
 ● 當社の資本金は五十萬圓なり  
 ● 當社は生命火災共毎日申込を受く  
 ● 大阪支社は大阪市東區瓦町三丁目  
 ● 京都支社は京都市寺町通佛光寺角  
 ● 代理店及申込所は全國各地にあり  
 ● 生命保險は家運長久の大基本なり  
 ● 生命保險は老後安樂の最良策なり  
 東京市橋區三十間堀一丁目

**諸株券取引所仲買**  
**東京株式取引所仲買**  
 東京日本橋區芝町三番地  
**全江波榮次郎商厦**  
 電話千七百三十三番

**利**  
**東京米穀取引所仲買**  
 電話千七百〇四番  
 定期米 買御  
 注文奉 願上候  
 十月一日より開業仕候に付買取も確買に取扱可申候間多少とも御注文の程伏而奉願上候敬白

**毛**  
**杉島傳兵衛**  
 電話千七百〇四番  
 定期米 買御  
 注文奉 願上候

**捷の海 一本の大陸**  
**日清戦争實記**  
 第五編 七月十日發  
 正價 一冊(百廿頁) 圓六十錢三厘  
 空前之發刊高  
 發兌 元



**東京米穀取引所仲買**  
**青木善太郎**  
 電話三百二十七番

**仲買**  
**德永久吉**  
 電話千七百三十三番  
 桑名米穀取引所仲買  
 羽柴茂三郎  
 桑名町大字殿町

**米**  
**川日商店**  
 電話千七百〇四番  
**米**  
**米穀取引所定期米**  
 電話千七百〇四番

各債株券首所  
 明治七年六月廿五日現在取引中  
 東京市橋區築港三丁目